

# 北信濃里山通信 vol.20

2015年4月30日発行

## 巻頭言 「オオルリシジミが飯山に幸せを…」

副会長 服部秀人

2015年度から副会長を仰せつかりました、「飯山スローライフ・アグリクラブ」の服部です。どうぞよろしくお願いいたします。

地元住民として、会長の井田先生とともに、皆さんのお力をお借りして、オオルリシジミが飯山に幸せを運んでくれるよう、精一杯力を注ぎたいと思います。

### 飯山の子どもたちに、オオルリシジミを誇りにして欲しいです

オオルリシジミが本州では現在のところ、飯山でのみ放蝶が行われずに自然発生を続けてきたという本種の危機的状況下において、専門家の皆さんが献身的に保護活動を推進してくださったお陰で、明るい展望が見られるようになりました。また、戸狩温泉スキー場への緊急避難も奏効し、昨年は何頭か瑠璃色の姿を私たちに見せてくれました。

今年は是非、飯山の子どもたちに呼びかけて、親子で観察会に参加してもらえると嬉しいです。小学校の先生方になるべくご負担にならないような参加形態で実施する方法が望ましいと思います。あの美しいオオルリシジミを目の当たりにすれば、必ず皆さん、感動されるはずです。子どもたちは、こんなすばらしい絶滅危惧種が飯山にいるのだ、と知って誇りに思ってくれると思います。

百聞は一見にしかず、観察会にできるだけ多くの親子の皆さんから参加していただく方を考えましょう。

### クララの苗を植えましょう

現在のオオルリシジミの生息地が自然に拡大するよう、関田山脈の麓の集落の家々に、何年かかけて、クララの苗を植えていただきましょう。

これまでの保護活動の成果で、オオルリシジミの数が徐々に増え、集落の中でも蝶の姿を見られるように、今から準備をしていきましょう。



## お知らせ

### ・第18回（平成27年）『カタクリの道 観察会』と『五束太々神楽』

今年も恒例の『カタクリの道観察会』を開催します。当会も後援していますので、会のみならずも御参加ください。午後は神社のお祭りです。新しい飯山駅のからくり時計に登場する五束太々神楽（長野県民俗無形文化財）も、ぜひご覧ください。参加申し込みは不要です。キノコ汁、手作りお米のおにぎりを用意しています！

【日時】平成27年5月3日（日） 午前11:00～12時30分

【場所】飯山市豊田 五束神社前

【講師】高橋勸さん（元・県自然観察インストラクター）、井田秀行会長（信大教育学部准教授）

### ・オオルリシジミ生息域外保全の放蝶作業

本年で3年目となりましたが、飯山産オオルリシジミの生息域外保全として、試行的に戸狩地区で蛹を放飼する作業を行います。昨年と同様、赤玉土と蛹が入った小型植木鉢の土中への埋め込み、看板の設置を行います。クララの植栽も予定しています。

本年の放蝶頭数は60頭、昨年放蝶したものの自然発生も調べながら、定着効果を検討します。

当日は周辺に生息するギフチョウの調査、観察を併せて行いたいと思いますので、関心のある方は参加ください。

【日時】平成27年5月10日（日） 午後1:00～

【集合場所】飯山市戸狩スキー場 星降るレストラン前（飯山市大字豊田6356-2）

その後、放飼場所に移動して作業を行います（2～3時間程度）。

参加申し込みは不要です。作業ができる服装でお越しください。

※羽化は6月上旬から始まると思われませんが、5月下旬から発生状況調査を随時行います。

### オオルリシジミ生息地環境整備

オオルリシジミ発生前の生息地環境整備として、注意看板の設置、ロープによる保護区設営、観察会前の遊歩道の草の刈り払い作業を行いますので、参加をお願いします。

【日時】 5月23日（土）及び5月30日（土）

午前9:00～15:00頃（終わりの時間は参加人員・作業の進行によります・・・）

※雨天の場合、翌日の5月24日（日）、5月31日（日）に順延しますが、実施不明な場合は前日の夕方、当会事務局（飯山市教育委員会）TEL：0269-62-3342へ問い合わせください。

【集合場所】飯山市公民館駐車場としますが、直接生息地に向かわれても結構です。

作業のできる服装でお越しください。

### ・「第4回・オオルリシジミ親子観察会」の開催

本年は放蝶地と現生息地で「オオルリシジミ親子観察会」を行います。

【日時・場所】 6月 7日（日）午前8:30～12:00 飯山市戸狩地区の放蝶地

6月21日（日）午前8:30～12:00 飯山市内の生息地

【集合場所】飯山市公民館（飯山市飯山1436-1）

【日程など】6月7日は8:30にバスで開会場所（戸狩スキー場暁の湯駐車場）に移動、9:00に開会し、徒歩で観察場所に向かいます。直接、開会場所に集合されても結構です。6月21日は8:30から受付、9:00開会。9:20頃にバスで生息地へ移動します。

※参加者にはオオルリシジミの観察とモニタリング調査（目視数をカウント）を実施していただきます。

【申込み】 いずれかの参加希望日を、飯山市教育委員会学習支援課（当会事務局・TEL：0269-62-3342）へ5月29日までにお伝えください。

【その他】 山歩きに適した服装でお越しください。小雨決行です。中止すべきような悪天候が予想される場合は、前日夕方までに連絡します。

※会員のみなさんには観察会当日、一般参加者にガイド・解説をお願いしたいと思っておりますので、協力ください。また、関心のありそうな方などに呼びかけをお願いします。

## 活動報告

### ・「定期総会」と「いいやまの郷土食とブナ利用を考える会食」

3月1日（日）に「味蔵・月あかり」で本年度の定期総会を開催し、昨年度の事業・決算報告や本年度の事業計画・予算が承認されました。また、役員改選では、不在であった副会長職に前飯山市公民館長の服部秀人さんの就任が決まりました。幹事には黒岩山保全協議会の田村さんも加わり、北信濃の地域内での連携を深めたいと思います。

前号で紹介しました「全国草原再生ネットワーク」への加入や、「信州生物多様性ネットワーク・きすな」（後述）への加入も承認され、本年の活動もさらに充実させたいところです。



昼食でいただいた郷土料理のお弁当

総会終了後は、「いいやまの郷土食とブナ利用を考える会食」として、「いいやま食文化の会」に協力いただき、「長野県シニア大学 32 期生 “おせっかいグループ”」と信州大学「ブナの実」活用プロジェクトチームが集まり、郷土食を味わいながらブナの実活用プロジェクトが紹介され、地域の今後について意見交換を行いました。

昼食としていただいた郷土料理は、「いもなます」、「えご」、「牛蒡の太煮」、「人参とほうれん草の白和え」、「凍み大根の煮物」、「みゆきポークのロールフライ」、「飯山産コシヒカリ」、「笹ずし」、「きのこの味噌汁」で、いずれも飯山と縁のあるもので、お品書きに解説が記されていました。



いいやま食文化の会・坂原さんのお話

味蔵・月あかりを運営されている「いいやま食文化の会」会長の坂原シモさんから、飯山の食ごよみ・季節の行事食や郷土食継承のための活動についてお話しいただき、地域文化としての「食」の大切さが伝わってきました。食文化の会では、他にも加工所の運営や食育活動、イベントの開催などに取り組まれ、里山の食と保全活用を通して連携していければと考えます。

さらに井田会長をはじめとする信州大学「ブナの実」活用プロジェクトチームから「北信州の里山資源 “ブナ” の実を活用した地域活性化」について取り組みの紹介が行われ、長野県シニア大学の卒業生（主に地元在住の北信学部）の方々の協力を得て「飯山産ブナの実のようかん」の試食・お披露目会が催されました。アズキのようかんの中にブナの実を散らしたのですが、特徴がよく現れていました。今後商品化に向け、ブナの実の栄養機能やその確保、パッケージデザインなどを検討中でプロジェクトは続けられるそうです。

「ブナの実ようかん」が飯山の新たな名物となり、ブナの森の保全に関心が高まればと思います。

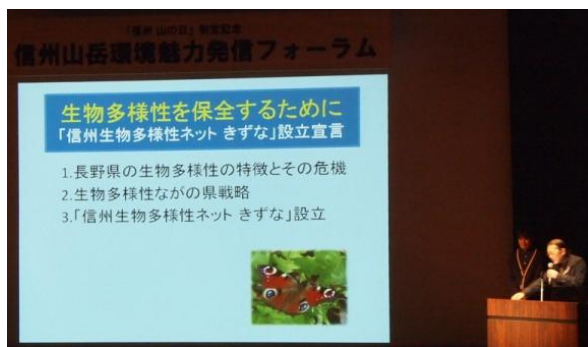


ブナの実ようかん



## 「信州生物多様性ネット・きずな」への加入

2月15日に「信州山岳環境魅力発信フォーラム」が長野市内で開催されました。そこで行われた「信州の豊かな自然を守るため」と題したフロアディスカッションのまとめとして、「信州生物多様性ネット・きずな」の設立が信州大学の中村寛志先生（当会顧問）により宣言されました。「きずな」は市民活動のネットワーク化を強化し、生物多様性保全活動の一層の推進と拡大を図るものです。当会もこのネットワークに加入することが、先日の総会で承認されましたが、今後活動に役立てたいものです。



「きずな」の設立宣言

## カヤの天日乾燥

昨年の秋に戸狩スキー場で刈り取ったカヤは冬場、外様地区の町井会館で保管していましたが、好天続きが見込める4月26日に屋外に出して、天日乾燥を行いました。

28日には、小谷屋根の茅葺屋根職人の松澤さんが見えられ、管理方法をアドバイスいただき、乾燥が済んだ一部を加工するために持ち帰られました。5月1日に乾燥を済ませて再度保管、6月以降に飯山市内の古民家修復に使われる予定です。



広げて乾燥中のカヤ

## 編集後記

先日、新しい会の入会案内・リーフレットを作成しました（下の写真）。北信濃の里山風景と会の活動など、写真とイラストでその魅力を醸し出しました。新年度が始まり会員の確保や会のPRにつなげたいと思いますので活用ください。本年度も地域資源の活用と地域連携を深める活動を進めたいと考えています。



発行者：北信濃の里山を保全活用する会 会長 井田秀行  
 事務局：〒389-2253 飯山市大字飯山1436-1  
 飯山市公民館内  
 TEL：0269-62-3342 FAX：0269-62-5940  
 E-mail：kouminkan@city.iiyama.nagano.jp  
 編集者・事務局長：福本匡志